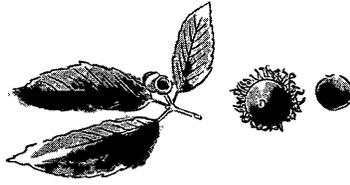


雪嶺集

〈宮坂静生鑑〉



八月十三日母を送りて

小林貴子

母逝けり夏水仙に見送られ
玉虫のきらめきに母連れてかれ
死者のため死者のかたへに天花粉
鳳仙花ぱんぱん弾け母送る
銀漢や死に化粧やや他人めく
遺影抱きひしひしと踏む簞
母の逝くここは蜻蛉の多きとこ
埋葬や箱庭に母置くやうに
射干や空洞の身の軽きこと
盆の月みなしごといふ言葉ふと